



いよいよ2学期 1年の折り返し地点です。

風がキンモクセイの香りを運んでくる季節となりました。町内の小・中学校は、2学期制をとっているため、本日20（金）で1学期の終業となり、23日（月）が2学期の始業となります。1学期を振り返るとともに、新たな目標に向かって、一人一人の成長と集団としての高まりを目指し、職員一同支援していきたいと思います。

“通知表”は子どもを伸ばすチャンス!!

通知表について

令和2年度から学習指導要領が新しくなっています。どの教科においても学習を3つの柱で整理し、それぞれにねらいを設け、そのねらいに沿って、どのように学習しているかを3項目で評価しています。

1「知識・技能」…「何を理解しているか、何ができるか。」

2「思考・判断・表現」…「理解していること・できることをどう使いながら考えたり、判断したりして、表現しているか。」

3「主体的に学習に取り組む態度」…「粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしているか。」

以上のことを、それぞれの教科の特徴をふまえ、テストの結果だけでなく、学習中の発言、活動の様子、ノートの記述、作品などから総合的に判断し、「よくできる」「できる」「もう少し」の3段階で評価しています。また、「道徳」や「総合的な学習（真田タイム）」、3・4年生の「外国語活動」では、具体的な学習の様子を記述しています。

今日は、各担任から子どもたち一人一人に通知表を渡します。通知表は、学校での一人一人の学習や生活の様子をお知らせするもので、他の児童と比べて評価したものではありません。「学習の様子」や「学校生活の様子」も大切ですが、担任が書いた「総合所見」を子どもと一緒にじっくりとお読みください。がんばったところや成長したところについては、さらに伸びるようにほめてください。子どもにとっては、次のがんばりへの大きなパワーとなります。

また、気になるところや努力が必要なところは、子どもに考えさせながら、2学期に意欲がもてるよう「こうすれば、きっとよくなっていくよ。」「家族みんな、あなたのことを応援しているよ。」と、励ましていただければと思います。

子どものがんばったところを丁寧にほめ、子どものこれからがんばらなければならないところは、子どもと一緒に目標を見つけ、通知表を「子どもを伸ばすチャンス」にしてもらえたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

就学時健診(入学説明会)でのお話

人間がもつ「未来に向かう力」とは ～「今を生きる力」をコントロールし、自分や周りの人たちと折り合いをつける力～

親子の関係性と心の発達について(臨床心理士 静 智明 氏)【第17回伊都地方教育講演会より】

「未来に向かう力」とは、①目標に向かってがんばる力②気持ちをコントロールする力③人と関わる力で、否認能力、社会情動的スキルとも呼ばれます。そして、未来に向かう力を育む土台になるものが、養育者とのアタッチメント（愛着）です。

「アタッチメント」とは、養育者にくっついてケアされることにより、子どもの脳内ではオキシトシン（愛情ホルモン）や内因性オピオイド（脳内麻薬）が分泌され、幸福感が生じ、安全感・安心感が回復します。人は信じられる存在という確信・自分は愛される（良い）存在だという感覚が芽生えます。

アタッチメント（くっつき方）には個人差があり、養育者の日頃の関わり方が影響しています。①安定型②回避型③アンビバレント型④無秩序・無方向型の4つの型があります。①安定型：不安になるとくっついてすぐに安心できる【養育者の関わり：安定している】②回避型：不安になってもくっつこうとしないタイプ【養育者の関わり：子どもに拒否的傾向で、子どもが泣いて近づくと、遠ざけようとしたり、自分から子どもから離れてしまったりする】③アンビバレント型：不安になってもくっついていても、安心感が得られないからしがみつく【養育者の関わり：気まぐれで、気分や都合で対応が変化する】④無秩序・無方向型：くっつきながらも、回避しようとするタイプ【養育者の関わり：精神的に不安定であったり、子どもをおびえさせるような行動を示したりする】

心の強さとは、嫌な気持ち（傷つき）を心の奥に押し込んだりなかったことにしたりすることではなく、きちんと抱えることができることです。否定したり抑制したりするのではなく、コントロールしていくことが大切です。

不快なことがあったときに、「死ぬ」「ぶっ殺すぞ」と言う子どもは、自分の不快な身体感覚に間違ったラベルがついています。本来「悲しい」「悔しい」という感情言語がラベル化されるところが、「死ぬ」という言葉でラベル化されてしまっています。このラベルの張り替えをていねいにしていくことが、子育てや教育・支援、学校の役割です。

脳の興奮を鎮める方法として、①水を飲む②肩や頬をトントンとタッピングしてみる③呼吸法（吸うよりも吐く方が長くなるように）④まばたきを繰り返す があるそうです。併用すると効果的だそうです。

未来に向かう力を育むことで、今を生きる力をうまくコントロールできるようになるプロセスを促すことは、子育て及び教育の大切な仕事です。

裏面もご覧ください



九度山小学校 10月号 NO.2
令和5年10月20日



秋季運動会9月30日(土) 笑顔満開!心ひとつに全力で わくわく・どきどきする運動会に

今年のスローガン「笑顔満開!心ひとつに全力で」のもと、児童も観客も「わくわく・どきどき」笑顔あふれる楽しい運動会となりました。

今年は紅組が勝ちましたが、「がんばることは素晴らしいこと」「負けても最後までがんばる姿はカッコいい」「体を動かすことは楽しい」「みんなと力を合わせることの充実感」など、運動会を通して経験したことや感じた気持ちを、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

苦しくてもがんばったことを認めてもらえた子どもは、達成感を感じます。達成感、自信や意欲につながります。そして、自信や意欲をもった子どもは次の活動で一生懸命がんばり、また達成感をもちます。自信→意欲→達成感→自信・・・というサイクルを経ることで、子どもたちは成長します。このように、運動会は、子どもたちの心根を深くし、心の中の土を耕し、肥料を与え、成長させる機会となったことと思います。

保護者の皆様、各学年の親子ゲームへの参加や温かい拍手、ご声援ありがとうございました。また、本部役員・企画委員の皆様、後片付けいただいた方、ご協力ありがとうございました。

運動会に際し、広良の老人会の方々が学校周辺の道路や広良への階段等をきれいにお掃除してくださいました。ありがとうございました。



1年生・保護者「ダンシング玉入れ」



低学年「できっこないをやらなくちゃ」



2年生・保「大玉ころりん」



3年生・保「Chu!速すぎてごめん」



中学年「～楽しもう Magic で日々を～」



4年生・保「巻き起こせ!4年旋風!!」



5年生・保「乗り越えろ!九度の山!」



高学年「新時代一心技体一」



紅白選手 紅白対抗リレー



6年生・保「親子で仮装ショット☆」



「もうすぐ1年生」
来年は1年生です。入学を楽しみにしています。

これからの主な行事予定

- 10月23日(月)2学期始業式
- 10月25日(水)陸上記録会(5・6年生)
- 11月7日(火)バス遠足(1~4年生)
- 11月15日(水)集会・音楽会リハーサル
- 11月16日(木)伊小中合同音楽会(3・4年生)
- 11月22日(水)授業参観・学級懇談会
- 11月30日(木)学校訪問
- 12月8日(金)九人研教育講演会
- 12月15日(金)九度山中学校説明会(6年生)
- 12月19日(火)20日(水)個人懇談会
- 12月22日(金)冬休み前集会
- 12月25日~1月7日冬季休業
- 1月9日(火)冬休み明け集会
- 1月21日(日)世界遺産マラソン
- 1月22日(月)振替休業

※予定は、変更になることもあります。変更箇所(下線部)